

# 月にみがきて



更級小学校だより  
No. 4 H26. 6.16

## 「わあ、よく飛ぶなあ」

5月27日(火)に竹とんぼをいただきました。寄贈して下さったのは、熱海市在住の出口 <sup>ひさし</sup> 尚 さんです。なぜ熱海市お住まいの方が竹とんぼを寄贈して下さったのか。実は、次のような経緯がありました。

5月21日(水)に出口さんからお電話をいただく。

「私は熱海市に住んでいる出口と言います。旅行が好きで各地に行っていますが、その時に小学校を訪問し、手作りの竹とんぼをプレゼントすることを続けています。来週、千曲市に旅行に行くので竹とんぼをプレゼントさせてもらえませんか」

電話をいただいて驚くとともに、本校に目を向けて下さったことをうれしく思いました。このことを職員で相談し、出口さんの寄贈を承ることとなりました。

出口さんからは、今までの活動が紹介された新聞記事をFAXでいただいたり、活動が紹介されている小学校のホームページを教えていただきました。わかった範囲では、地元静岡県はもとより、長野県や新潟県、山梨県など、たくさん小学校に手作り竹とんぼを寄贈されていることがわかりました。出口さんがこの活動を始めたきっかけは、お孫さんから「学校で昔の遊びを勉強するから手伝って」と頼まれてからだそうです。

そして、出口さんとの対面。出口さんは、手作り竹とんぼの説明をした後、実際に飛ばして見せてくれました。そうしたら、体育館の天井に届き、梁にのってしまいました。子どもたちは、その様子を見て大変驚き、歓声を上げていました。

出口さんが竹とんぼを飛ばす姿を見た後、いよいよいただいた竹とんぼを飛ばしました。出口さんの飛ばした竹とんぼを見ていましたから、「同じように飛ばしたい」「同じように飛ばはずだ」と思い描いていましたが、実際にはそうはいかず、足下に落ちてしまう子が多かったです。でも、子どもはやってみて身につける力が高く、しばらくすると徐々に飛ぶようになりました。

出口さんは「子どもの時に遊んだ竹とんぼだから、大人になってもすぐにできた。体で覚えたことは絶対に忘れない。体を使ってたくさん遊んでほしい」と子どもたちに話してくれました。

その日の放課後・玄関前のロータリーと校庭は竹とんぼ広場となり、汗びっしょりになって飛ばしている子どもたちがいました。手作り竹とんぼを通して出口さんの思いが伝わったようです。



竹とんぼを手にお話する出口さん





### 遠足、疲れたけど、楽しかったなあ

5月23日(金)に全校で遠足を行いました。目的地は次の通りです。

天候に恵まれ、暑いくらいの陽気となりました。このような天候の場合、途中で疲れてしまい歩けなくなってしまう児童が出てしまうものですが、弱音も吐かずみんな元気に歩けたようです。

何より驚いたのは、この日の欠席がゼロであったことです。行事の時には体調を崩してしまう児童が出やすいものですが、遠足に全員が参加できました。ご家庭での健康管理のおかげだと思います。ありがとうございました。学校とは違う場所でクラスの友達と一日過ごしたことで、仲が深まったり広まったりしました。これからの学校生活で広まり深まった仲を活かすとともに、いっそう深めていってほしいと思います。

5年生の冠着山登山には、地域の方や保護者の方にも同行していただきました。登山ということで、ご協力をしていただき大変助かりました。学校行事において新たな試みができることは学校としても良かったと思っています。

- |    |                |
|----|----------------|
| 1年 | ： 親水公園、佐良志奈神社  |
| 2年 | ： 大雲寺          |
| 3年 | ： 荒砥城趾         |
| 4年 | ： 稲荷山公園        |
| 5年 | ： 冠着山          |
| 6年 | ： 森將軍塚古墳館、松代史跡 |



6年生



5年生



4年生



1年生